



2026 年 2 月

東武鉄道株式会社

2025 年度第 3 四半期 決算説明会 主な質疑応答

※2026 年 2 月 4 日に「2026 年 3 月期第 3 四半期決算補足説明資料」を基に開催した「2025 年度第 3 四半期 決算説明会」の質疑応答の内容です。

※本内容は、書き起こしではなく、説明会での質疑応答の内容を弊社にて簡潔にまとめたものです。あらかじめご了承ください。

Q. 中国政府による日本への渡航自粛について、ホテルやスカイツリーへの影響を教えてください。

A. ホテルへの影響は、他国からのお客様でカバーできると見込んでおり、限定的と見ている。ただし、今後、単価下落が起きる可能性があるので、その動向を注視していく。

また、スカイツリーについても、他国からの来訪者でカバーできると見込んでいるため、影響は限定的と見ている。

Q. 運賃改定の考え方について、中間決算時からの変更点があれば教えてください。

A. 中間決算時点から大きな変更点はなく、スケジュール等現段階ではお示しできないことをご理解いただきたい。

Q. 今回、増配した背景を教えてください。

A. 親会社株主に帰属する四半期純利益が過去最高になる見込であり、年度計画の確度も上がったため、増配することを決定した。

Q. 現時点での今期から来期(2026 年度)にかけての利益増減の見通しを教えてください。

A. アップサイド要因としては、新東武カード発行に係る一時的な費用が減少することによる収支改善や、スカイツリーにおける変動価格導入などである。

一方、ダウンサイドの要因としては、鉄道業における維持管理費用の増加や、百貨店業の営業環境の変化などと考えている。

以 上